

JAえんゆう広報誌

ひざし

2013 1

No. 167

謹賀新年

今月の主な記事

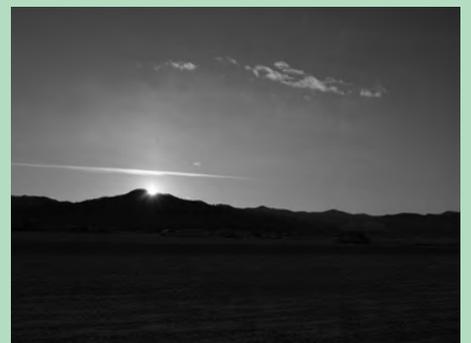
新年のご挨拶

えんゆう農業協同組合	
代表理事組合長 中川 菊夫	2
網走農業改良普及センター 遠軽支所	
支所長 五十嵐 強志	4
北海道農業協同組合中央会	
会長 飛田 稔章	5
JAえんゆう青年部 部長 青柳 圭介	
JAえんゆう女性部 部長 新国 妙子	6
一日皆貯金当選者発表	7
秋季農事部懇談会	
秋季農事部懇談会の主な意見・要望	8～9
コスモスの郷ゆうゆう竣工祝賀会	10
東日本大震災支援活動で特別大臣感謝状贈呈	
ステキなカップル	11
全道JA青年部大会	
オホーツク管内青年農業大会で優秀賞受賞	12
女性部研修会	
フレッシュミズ合同研修会	13
営農計画書作成協議日程	14



今月号の「いもたま作造くん」はお休みさせて戴きます。

「TPP特別寄稿」「クロスワードパズル」「当選者発表」「読者の声」は休載させていただきます。



表紙写真：湧別町南兵村付近から見た日の出

組合長新年のご挨拶

えんゆう農業協同組合 代表理事組合長 中川 菊夫



組合員の皆様、新年明けましておめでとうございます。平成二十五年度の輝かしい新年を、ご家族の皆様とともに壮健にて迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

一昨年は、東北地方を襲った未曾有の大震災から二年目を迎え、瓦礫の撤去など被災地の復興の遅れが顕在化する中、異常気象、決められない政治、デフレ経済による将来への不安が広がる一年でありましたが、昨年末に発足した新政府に大きな期待を寄せるとともに被災地の創造的

な復興をご祈念申し上げる次第です。さて、昨年は春先より順調に雪解けを迎えましたが、移植・蒔きつけ時期の五月に季節外れの大雪が襲い、一部作物に生育障害が発生しました。しかし、その後は天候も持ち直し、順調に成育期を経過、七月中旬からは低温・降雨日が多かったものの作物への大きな影響はありませんでした。北見管内の一部地域では七月末日に降雪があり大きな被害となりましたが、幸い当地域では降雪もなく、その後も心配された台風による災害

も免れ、好天の中概ね順調に収穫期を迎えることができました。中でも玉葱については、質・量ともに平年作を大きく上回り、反収で六・五トンを超え、正歩留まりについても、高い水準となりました。小麦については、心配された穂発芽もなく、収穫量についても反当たり平均で八・六表を超え、昨年より二俵の増収となりました。しかし、品質については残念ながら地域格差も発生しています。馬鈴薯、甜菜についても概ね平年作となったものの、

謹賀新年

平成二十五年 元旦

えんゆう農業協同組合

代表理事組合長 中川 菊夫
代表理事専務 山口 哲朗

理 事

菅井 光誠
山口 哲朗
鈴木 光俊
関口 哲治
阿部 和彦
井上 政徳
片岡 節夫
長谷川 秀利
牧野 正俊
箭内 秀幸
菅井 正志
菊地 敏明
佐藤 克哉

糖分については平均で十五・五％と残暑と秋口の雨量の影響を受ける結果となりました。南瓜については、エビス・黄王ともに平年作の収量を上回り、反収量で一・八トンから二トンの収量となりましたが、完熟期の高温が品質の劣化を招きました。

青シソについては、収量品質ともに平年作となり平均反収については三キ口となりました。

畑作総体を検証しますと、ほとんどの作物において平年作を超える結果となりました。作物によっては、青果市場価格の低迷、地域格差、圃場格差はあるものの一定の価格は維持され、管内的にみても平年作以上の収穫と売り上げを得ることができました。

一方酪農においては、プール乳価で約二円三一銭の値上げがあり、生乳生産状況は、全道において前年対比で一・六％の増産となっていますが、当組合においては前年とほぼ変わらぬ生乳生産量となっています。

これは、残暑の影響による乳量の伸び悩みなど、離農者の減少分を既存の酪農家で埋めることができなかったこと、また生乳増産に向けての施設投資が過渡期を迎えていることが要因と考えられます。また、育成・初任牛の個体価格については、酪農経営の大規模化または乳価が値上げとなったことなどから、前年に続き安定的価格で推移しました。

現在の酪農環境は、飼料価格の高止まり、生乳需給の逼迫などのほか、

値上がり傾向を続ける燃料価格など円高が是正されれば、より厳しい環境になる可能性もあります。中央酪農会議は、一昨年の十二月に「三年間は減産をしない。」方針を明らかにしており、今こそ酪農生産基盤の拡充・強化を図るときでもあります。

組合としても、コントラクターの充実と効率化、TMRセンターのモデル地区の選定と建設、育成センターの事業開始と生乳増産体制の支援をより一層進めてまいります。また、系統組織にあつては総力を結集し、新年度の乳価交渉と生産資材価格の低廉化への努力に期待を致します。今後とも組合員の皆様には、乳製品消費拡大についても、よろしくお願いいたします。

肉牛経営については、飼料価格が高止まりで推移する中、一昨年起こった生肉による食中毒被害、福島原発事故による放射能汚染などの影響により乳雄枝肉価格はもとよりF1、和牛枝肉価格についても、未だに回復せず、東電の価格補償がなければ肥育農家の経営収支は成り立たない状況となっています。組合としても、よりすぐれた格付向上の技術指導とコストの削減に対する指導を強化、サポートしてまいります。

さて、政権交代により暮れに発足した新政府はTPP（環太平洋経済連携協定）交渉への参加について「聖域なき関税撤廃を前提にする限り反対」と、国益が守られるなど条件次第では参加を認める考えを示してい

ます。TPPとは原則全ての品目を自由化するものであり、重要品目を関税撤廃の対象から除外することは困難と思われまます。オホーツク管内では、畑作三品として小麦やビート、澱原馬鈴薯のほか、乳製品など幅広い産品への打撃が懸念されています。

国内農業・北海道農業を守る明確な政策指針を示すとともに、国内食料自給率を先進国として恥ずかしくない基準まで押し上げる政策を期待するところです。当組合として「TPP交渉参加問題」については、系統組織と強く連携し交渉参加反対の意思を示すとともに、今後新政府の動きを注視してまいります。

いつの時代にあつても、食糧を安定的・継続的に国民に提供することは、農業基盤の確立と発展があつてはじめて実現することです。その意味において「食の安全と安心」は、生産者と消費者の共通の願いであり、食糧を生産する我々にとつては「使命」と「誇り」です。そして、食料産業の原点にある農業者が尊ばれ、持続可能な経営を保証されることが農村地域の振興と地域社会をも守っていくことになると強く確信しております。

年の初めに当たり、組合員・ご家族の皆様のご健勝とご多幸、本年の五穀豊穣を願い社会安穩なる一年であります事を心よりご祈念申し上げますとともに、系統結集への更なる御理解と御協力をお願い申し上げます。年の御挨拶といたします。

理事		岩城 健治
代表 監事		久須田 栄治
常勤 監事		佐藤 直行
監事		石丸 政雄
" "		小倉 武
" "		高橋 淳
" "		井上伸一郎
" "		馬場 秀人
" "		職員 一同
農政部会		
部長	渡辺 進司	
副部長	片岡 満雄	
酪農専門部会		
部長	青柳 敏孝	
副部長	澤口 豊	
" "	片岡 満雄	
" "	阿部 光浩	
" "	高橋 敬貴	
ビート専門部会		
部長	石田 昭夫	
副部長	吉村 智之	
" "	前島 英樹	
馬鈴薯専門部会		
部長	平野 隆樹	
副部長	宮嶋 英樹	
" "	伊藤 裕樹	
ブロッコリー専門部会		
部長	平野 寿雄	
副部長	中川 雅元	
" "	大河原 正一	

新しい年を迎えて

網走農業改良普及センター遠軽支所 支所長 五十嵐 強志



強志

新年あけましておめでとうござい
ます。

皆様におかれましては、ご家族お
揃いで輝かしい新年を迎えられたこ
とと存じます。

昨年末に実施された衆議院選挙に
よって政権が交代し、ＴＰＰ対応や
戸別所得補償制度などの農業政策に
も大きな動きが出てくることが予測
されます。食糧基地である北海道農
業を支える皆様が将来に渡って安心
して営農継続できるよう、長期的な
視点に立った農業政策となることを
望んでおります。

昨年の遠軽町の気象及び作況をか
えりみますと、融雪期は平年より四
日遅れ、五月中旬に再び積雪となり、
は種・植え付けが遅れました。五月
から九月までの平均気温の積算は平
年比一〇四％と平年並み、降水量は
平年比一一〇％と多く、日照時間は
平年比九四％とやや少ない年でした。
主要作物の作況では、てんさいを
除いて概ね平年作以上の作柄が確保

されました。

秋まき小麦では出穂期以降の低温
によって登熟期間が十分確保された
ことと適正な肥培管理によって、収
量・品質ともに良好な成績を収めま
した。二十五年産は昨年秋の長雨に
よる生育への影響が心配されること
ろで、融雪促進と起生期以降の生育
に応じた栽培管理が重要であります。

てんさいは八月中旬以降の高温や
十月以降の多雨により、平年と比べ
糖分は大きく低下しました。特に排
水性の悪いほ場では糖分低下が顕著
に現れており、心土破碎の実施や活
着後の畦間サブソイラの施工で根張
りを改善し、糖分低下を軽減するこ
とが大切です。近年、てんさいの作
付が減少傾向にあります。輪作体
系を維持するためにも重要な作物で
あることから計画的な作付検討をお
願いいたします。

たまねぎは球肥大時期が低温で推
移したことと適切な栽培管理によっ
て、過去二番目の収量を記録する豊

作年となりました。

飼料用とうもろこしは八月上旬ま
での低温により雄穂抽出期から黄熟
期が遅れましたが、八月中旬以降の
高温により生育量は平年を上回りま
した。

地域の農業を支える担い手の確保
状況に目を向けますと、当地区を含
て全道的にも、農業者の減少を補う
新規就農者（新規学卒、Ｕターン、
新規参入）の確保は十分とは言えな
い状況が続いています。担い手の育
成確保をはじめ、規模拡大への対応
など、持続的な農業経営が可能とな
る体制づくりへの取り組みを進めて
いく必要があります。

農業改良普及センターでは、活力
ある地域農業づくりのために職員の
総合力を活かし地域の課題に取り組
んでいきますので、皆様のご協力を
お願い申し上げます。

皆様のご健勝と豊穰の秋を共に迎
えられることを心からお祈りし、新
年のご挨拶いたします。

玉葱専門部会

部会長 横尾 俊雄
副部長 花木 慶喜
井上 靖

麦作専門部会

部会長 中川 雅元
副部長 高橋 源之
北村 満

特作専門部会

部会長 岡村 英巳
副部長 藤井 和人
岡村 貴幸

畜産部会

部会長 高谷 慎二
副部長 林 秀幸

農機推進委員会

部会長 志鎌 輝嘉
副部長 岡和田 博
木暮 武良

えんゆう農協青年部

部会長 青柳 圭介
副部長 安本 崇
井上 実

えんゆう農協女性部

部会長 新国 妙子
副部長 板垣 桂子
澤口 久美

年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会 会長 飛田稔章



組合員をはじめJA役職員の皆様方が、希望に満ちた平成二十五年の新春をご家族とともに迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

昨年の北海道農業は、一部地域での豪雪の影響などにより農作業の遅れなどがありました。その後比較的天候に恵まれ、降雹被害や台風による被害などによって地域や作目による差はあるものの、組合員・JAの努力が報われ総体的には豊穡の出来秋となりました。

さて、平成二十三年の東日本大震災から二年が経とうとしておりますが、復興への道筋は決して容易なものとはなっており、また原発事故の収束にも目途が立たず、全国の農業者や消費者は不安を抱えています。JAグループは、被災地の復興に向けてあらゆる支援を続けていくこと、安全・安心な農畜産物を安定的に消費者の皆様にお届けすることに、今こそ協同組合の精神である「絆」

を大切にする価値観のもとで、総力を挙げて取り組むことが必要です。

なお、今冬は電力不足の可能性から、北海道では今夏の取り組み目標に七割以上の節電目標が設定されました。

もし万が一にも計画外停電となつた場合には相当の支障が生じることが危惧されることから、JAグループ北海道として節電に取り組んでいく必要がありますので、皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

さて、本年は『協同活動でつくる持続可能な農業と地域社会』を主題に開催した第二十七回JA北海道大会決議事項の実践初年を迎えます。

本大会は向こう三か年間のJAグループ北海道のめざすべき方向を決定し、これを内外に表明するとともに組合員ならびに役職員の意識高揚を図り総力を結集して決議事項の実践を図ろうとするものです。

大会決議事項の「持続可能な北海

道農業の実現」では、日本の食料基地北海道として、安全・安心な農畜産物を生産し、安定的に消費者に提供するという使命を果たすために、

持続可能な北海道農業の実現に向けて、必要な農業政策を国に求めていくとともに、自らも農業生産を担う多様な担い手の確保・育成、農業生産に意欲を持つて取り組める農業所得の拡大、食の安全・安心対策の実施と環境に配慮した農業の実践に取り組むことを決議しました。

一方、「次代を担う協同の実践」では、JAグループ北海道の組織・事業・経営において、JAの経営を担う次世代の担い手の正組合員加入を促進し、次代に向けてともに協同活動に取り組むこと、地域におけるライフラインの一翼を担うものとして、総合事業体の強みを生かし、組合員・利用者（地域住民）から高い満足度を得られるサービスを提供するため、自らがさらなる経営の健全性向

上に取り組むこと、加えて、組織を支える人づくりとJAグループ北海道への理解醸成に向け広報活動に積極的に取り組むことを決議しました。また、TPP交渉参加断固阻止に關しては、多くの関係機関と連携の上、理解促進運動を継続し、組織の総力を結集し不転の決意で徹底して闘うことを特別決議として再確認しました。

大会決議に基づく基本目標の具体的成果に向け、JAグループ北海道の総力を挙げて取り組みましょう。今後、景気の低迷や農業貿易交渉等の進展によつては、農業への影響が大きく懸念されますが、全道の組合員の皆様をはじめJA役職員が『二人は万人のために、万人は一人のために』という協同組合の理念をよりどころにして、JAへの結集を強め協同運動を強力に展開することにより、この苦境を打開し未来を切り開くものと確信しております。

本年も災害がなく、豊穡の秋を迎えることができ、北海道農業の発展と成長をめざし飛躍の年となりますよう心から祈念申しあげ、新年にあつたつてのご挨拶といたします。

新しい年をむかえて

J A えんゆう 青年部
部長 青柳 圭介



新年あけましておめでとうござい
ます。

平成二十五年の新春を迎え、青年
部部員ならびに農業関係者の皆様は
は心よりお慶び申し上げます。

昨年のお慶びは、てんさいを除
くと平年以上の作柄を確保出来た年
でありましたが、全般的に雨量が多
く、特に秋の長雨では各位も収穫作
業全般に難渋したことを存じます。

また、昨年十二月十六日の衆議院
選挙の結果により、政権交代が起こ
ることから、今後の農業政策も大き
く変化することが予想されます。

新しい政権には、日本の食糧基地
である北海道農業に元気が出るよう
な農業政策を執行していただけるこ
とと存じますし、T P P（環太平洋
連携協定）には参加せず、日本の食
糧安保を考えた政策をとっていたら
けることを強く望みます。

昨年の青年部活動では、例年実施
している産業廃棄物回収、町主催各
種事業への協力、オホーツク農協青
年部協議会、北海道農協青年部協議
会など上部団体主催行事への参加、
P R 活動、上湧別小学校四年生を対
象とした農業体験学習などおこなっ
てまいりました。

管内青年部の盟友が協力して開催
したオホーツク農業祭では、産直市
食育コーナーでの解説、試食・パ
ター作り体験を行い、消費者と触れ
合うことで農業への理解を深めても
らうことが出来ました。その他事業
につきましても関係機関各位のご協
力により円滑に進められたことに厚
くお礼申し上げます。

そして、来年度からオホーツク農
協青年部協議会の体制が変わり、現
在の三ブロック体制から二ブロック
体制になり、スポーツ交流会等にお
いて、現在より広範囲な盟友同士と
親睦・交流が出来るようになります。
移動等大変になるとは存じますが、
貴重な交流の機会でもありますので
多数の部員各位のご参加ご協力よろ
しくお願い申し上げます。

そして、今後の青年部活動で、部
員相互の団結を深めて、積極的な事
業展開に取り組み、個々の営農意欲
の向上、活力ある青年部作りに励ん
でいきたいと存じます。

最後になりましたが、本年も関係
機関各位および部員各位の一層のご
支援とご協力をお願い申し上げ、新
年のご挨拶といたします。

新年にあたり

J A えんゆう 女性部
部長 新国 妙子



皆様には、お健やかに新春をお迎
えのこととお慶び申し上げます。

また、各関係機関をはじめ、フレ
ッシュミズ、女性部、その御家族の
皆様には平素より女性部活動に対し
まして、深いご理解と暖かいご支援
ご協力を賜ること心から感謝申し上
げます。

昨年は、近年の異常気象に伴う秋
の長雨等により収穫には大変ご苦労
された方も多かったことでしょう。

また、T P P との戦いも二年が過
ぎ、ここが踏ん張りどころの時期に
きており、農業経済にも不安を残す
年となりました。

先日、サービスタ付高齢者向け住宅
「コスモスの郷ゆうゆう」、介護セン
ターみどり・デイサービスタセンター
の竣工記念祝賀会に出席させていた
だきました。その席の中で、この
「ゆうゆう」が歴代女性部の方々の意
向も取り入れられて生まれてきた施
設であることをお聞きしました。

私達にとって介護は生活に深く係
わり、直面した課題でもあります。
そういった女性の気付きの視点か
ら、今後は、ひとりひとりが声を上

げ、さらにその声を大きくしていく
ことで、地域やJ A と共に進んでい
くことが出来るように心がけて参り
たいと思います。

近年、女性部員の減少も社会状況
とともに止めることが難しい時にき
ています。

農業の喜びや大変さを知っている
専業農家の女性にこそ活動に加わり
声を上げて欲しいのに、忙しい等の
理由で断られることも私達の悩みの
ひとつであります。働き盛りの年段
主婦として家族の中心であるほど外
出しづらい面はあるでしょう。嫁の
立場という遠慮も根強くあると思
いますが、社会に飛び出し刺激を受
けながら新しい知識を吸収して共に成
長しましょう。そのために、家族、
ご両親、夫、子供たち、身近な方々
の更なる応援を今後ともお願いいた
します。あわせて、未加入の女性の
方々も参加、参画していただき、こ
の地域の農業の活性化に一步を踏み
出して欲しいと願っています。
二〇一三年の新しい年、皆様のご
健勝とご多幸を祈念し新年のご挨拶
といたします。

一日皆貯金 当選者発表！

〈特賞〉一万円（五名）

池田 和子 中村 幸男
久須田 昭 大河原力ツヨ
斉藤 吉美

〈金賞〉五千元（十五名）

武藤 紗良 志鎌 哲雄
滝田てつ子 長谷川豊子
穴田百合子 平井 真紀
吉田 昭憲 志鎌 泰子
伊豆田英子 米田 涼子
横田 恵理 高橋 順司
笹原 仁 山口 亮
榊田 友之

〈銀賞〉三千元（三十五名）

坂井よしゑ 形部 光子
秦野 好枝 細川小夜子
牧野 正俊 森谷 元稀
木村 友美 藤井 勝美
三品 喜愛 元木 茂
高柳 美空 川合千鶴子
伊東千代子 林 孝子
臼井 美穂 松田 恒平
小林 政彦 加賀屋公美
伊藤 正徳 高橋 義久
角谷亜莉紗 鈴木 浩一
呉羽 薫子 海老名美代

〈銅賞〉一千元（一〇〇名）

上野 一恵 小野 豊子
菊地 節子 市原 祐二
安立 富治 延原 勇作
午来 浩幸 秋葉 磨
安立 孝之 大井 保幸
滝口 隆弥

宮嶋江美子 和田 昌子
山田アヤ子 松原 静奈
八巻 晴香 上松咲穂奈
木村 新市 秦野とみえ
須藤 正子 吉野夕ツ子
出口 恵子 城岡 隆浩
奥山 秀雄 菅野 大樹
三沢ヒフミ 村田 梢
吉山 和子 福島 保
藤本 光利 菊地 優
石田 玲香 平野 朋矢
安本 博 山口 真理
森 美月 福本 和子
石田 国子 高谷まつ子
国枝 稔 石田 則夫
池田 隆喜 堀下 武敏
高柳 星哉 細川 正美
秋葉キミ子 森谷 重俊
長谷川美香 河村 寛
吉田 勝江 柴田 トモ

長谷川ヒサエ 天野カズ子
菅蒲 靖子 高柳 雅一
増田 公俊 菅野 静枝
岳上 節 佐藤 秀子
木村 美紀 菅原 章一
近藤 誠一 岡崎富美子
今 朋子 大江 寿夫
高橋 和枝 笹原 重敏
前島 心 阿部 治彦
佐藤 洋子 小森 節子
大田 晴美 太田紀英子
吉田森之進 岸浪 重男
山本 正 吉田 真菜
外山 勝美 山木 真理
狩野 智弘 菅井 美香
前島 亜里 新岡 芳子
菅井 潤 笹原加奈絵
岡田 広美 石山 幸枝
反怖 豊子 岡村 愛子
新野尾ちづ子 佐々木勝實
草野 敏弘 今田 謙蔵
市原 稔 佐藤真理子
佐藤 由美 木村 和三
秋葉 勝夫 益山 昌典
益山 光代 佐藤 正
中山 義徳 菊地 典子
古関ひとみ 児玉 俊広
笠井ミサ子 午来明日香

三浦 郁子 上城 充
加藤 忠則 高岡智恵子

（順不同・敬称略。お名前に誤字脱字がございましたら、ご了承承願いたします。）

当選された皆様、大変おめでとうございませう。賞金につきましては、一月末日までに貯金口座に入金いたしますのでご確認ください。また、当選された方にはあらためて文書にてご通知申し上げます。

当JAは、今年も皆様のお役に立てる金融機関として貯金業務はもちろん相談業務充実をはかり、皆様のご利用をお待ち申し上げます。



抽選会の様子

秋季農事部懇談会が開催されました

十一月二十八日〜十二月三日にかけて、二十三地区十会場において、秋季農事部懇談会が実施され、多くの組合員が出席しました。

懇談会では、今年度の作況、農協

がおこなっている事業進捗度合い、今後の取組などを説明するとともに、組合員から多くの意見・要望が寄せられました。

また、主な事項についてお知らせ



農協に対して多くの意見・要望が寄せられました

するとともに、理事会において十分検討し、今後の事業推進に反映させてまいります。

なお、記載漏れ・内容不備があったときはご容赦願います。

秋季農事部懇談会の主な意見・要望

【営農関係】

- 一、 湿害対策事業について、期間の延長の対応と過去の実績単価を周知して欲しい。
▽状況に即し対応いたします。
- 二、 堆肥場堆肥化の遅れについて、なぜ堆肥化が以前より遅れるのか説明願いたい。
▽原料となるバーク堆肥が減少している中、調整材の玉葱および南瓜の量が増加しており、必然的に完熟まで時間がかかっている。
- 三、 各地区組合員が減少している中で、実情に合った部会役員定数に変更願いたい。
▽対象となる部会、部会役員と協議いたしますが、農事部再編についても再考願いたい。
- 四、 新規就農について地区によって
一、 是農地が余ってきているので、今後考えないのか？
▽まずは既存農家の基盤充実が最優先。既存農家の基盤充実が図られた時には当然新規就農にも力を入れていく。
- 二、 後継者パートナー対策について、役員が今まで以上に取り組みの強化をして欲しい。
▽役員が一丸となって取り組みを強化いたします。対象組合員の皆様も積極的にご協力いただきたい。
- 三、 生田原地区のハーベスターが老朽化しているので更新をお願いしたい。
▽前向きに検討するが、導入額によっては負担増をお願いする場合もある。より一層の系統結集にご理解いただきたい。

七. 農機リース事業について詳細が分かり次第周知願いたい。

⇩来年春に事業内容の詳細が分かる予定。詳細が分かり次第説明会またはFAX等にて周知する。

八. TMRセンターについて、農協として設立・運営を考えているのか。

⇩組合員からの要望があれば、前向きに検討したい。

【農産関係】

一. 繁忙期に事務所に担当が在申していない場合があるので改善願いたい。

⇩不便の無いように常駐出来る体制作りをおこなっていく。

二. ビート運搬について、連絡なしに勝手に集荷している場合があるので事前に周知願いたい。

⇩関係機関に連絡し、周知徹底する。

三. 苗づくりについて、本年は未熟苗が見受けられたので改善願いたい。

⇩天候等に左右されるため難し

い部分はあるが、誠意努力いたします。

【畜産関係】

一. 東電賠償について、事務費用は生産者から徴収するべきではないか。

⇩当初は何度も賠償請求を行うことになるとは考えていなかったため、徴収しないこととしていた。賠償金のためご理解願いたい。

【資材関係】

一. 配合飼料の対策について、独自ブランドの対策より、一般飼料の対策が大きいのはおかしいのではないか。

⇩当初の説明と食い違いが無いよう再度確認し、皆様へ周知いたします。

【その他】

一. 土曜日半休の導入により、子会社及び現場での対応は支障の無いように願いたい。

⇩現場対応は不便の無い様に取

り組んでいく。

二. とんでん市場の品揃え及び価格について、他のえんゆうエコープ店と変わらないよう対応願いたい。

⇩今後は対応いたしたい。

三. コスモスの郷ゆうゆうについて見学の対応をお願いしたい。又、ショートステイの取り扱いは行わないのか。

⇩見学については一定の人数が揃えば対応いたしたい。ショートステイについては許可が

下り次第対応いたしたい。

四. 万一の停電などに備えるため、自家発電機に対する助成等は考えていないのか。

⇩今後発電機の所有有無を確認し、非常時に貸出対応出来るかどうか精査する。また、導入に対する助成については今後内部で検討したい。

五. 近いうちに近隣農協との合併は考えているのか。

⇩現在のところ具体的な話は無く、考えていない。

【出席者】

富美 八名

上富美 四名

開盛 二名

四の二 七名

四の二 一二名

四の三 一四名

屯市 七名

札富美 四名

五の一 一七名

五の二 二名

五の三 九名

旭 一名

遠軽 七名

学田 一名

清川 三名

社名淵 六名

瀬戸瀬第一 三名

瀬戸瀬第二 二名

丸瀬布 四名

白滝 一二名

安国 二名

生田原 五名

清里 三名

合計 一三五名

地域介護福祉の一翼を担うために コスモスの郷ゆうゆう竣工祝賀会を開催



コスモスの郷ゆうゆうの今後の発展を祈念して三本締めがおこなわれました



開会挨拶では中川社長から感謝の言葉が述べられました



工事関係者の方々に感謝状が手渡されました

十二月十三日に、十一月に開設されたサービス付高齢者賃貸住宅「コスモスの郷ゆうゆう」の竣工祝賀会が、関係者一五〇名を集めて、ホテルサンシャイン（遠軽町）で開催されました。

開会挨拶では、コスモスの郷ゆうゆう中川菊夫社長から、計画から設計・施工、そして

竣工でお世話になった関係者各位に対して謝意が述べられました。

続いて、来賓祝辞では、前衆議院議員武部勤氏秘書の久保秋氏、遠軽町の佐々木町長、湧別町の原田町長から、暖かい祝辞をいただきました。

その後、中川組合長から、今回お世話になった工事関係者

五名に対して感謝状が贈られました。

閉会式では、コスモスの郷ゆうゆうが地域の介護福祉の一翼を担い、地域の発展に寄与し続けられることを祈念し、えんゆう農業協同組合山口哲朗専務理事の音頭で三本締めがおこなわれ、盛会のうちに終了いたしました。

東日本大震災での支援活動で 特別大臣感謝状を贈呈されました



特別大臣感謝状を受け取る中川組合長

十二月二十日、陸上自衛隊遠軽駐屯地において、昨年三月十一日に発生した東日本大震災でのJ A えんゆうの支援活動に対して、「特別大臣感謝状」を贈呈されることとなり、

J A を代表して中川組合長が伝達式に出席して、感謝状を受け取りました。

この特別大臣感謝状は、組合員各位からご協力をいただき、昨春被災地で救援活動をおこなう自衛隊員に現地で不足していた新鮮な野菜類をJ A が提供したことに

対していただいております。また、J A では組合員各位にご理解をいただき、救援物資ならびに義援金を、J A 北海道中央会を通じて被災地に届けていることを改めてご報告させていただきます。

今回、組合員各位にご理解ご協力をいただきおこなっていた地道な活動が、このような形で評価されたことにJ A としても喜ばしく存じます。

ステキなカップル



牧野俊介君（写真左）と真理子さん（写真右）

今回のステキなカップルは、湧別町五の一の牧野俊介さん・真理子さんご夫妻を紹介させて頂きます。

Q ご結婚されたのはいつですか？

平成二十四年十月四日 入籍

Q 知り合ったきっかけは？

俊介さん 「京都の交流会」
真理子さん 「京都での交流会」

Q 第一印象は？

俊介さん 「おとなしい子だな」
真理子さん 「おもしろい人だな」

Q ひかれたところは？

俊介さん 「甘えん坊の所かな」
真理子さん 「優しいところ」

Q プロポーズの言葉と返事は？

俊介さん 「結婚しようか」
真理子さん 「ひみつ」

Q 子どもは何人ぐらい欲しいですか？

俊介さん 「三人」
真理子さん 「三人ぐらいかな」

Q 十年後の二人は？

俊介さん 「ケンカし仲直りし、良い具合のラブラブ的な」
真理子さん 「今と変わらず仲良くしていたいな」

Q 最後に一言

俊介さん 「これからは良い事も嫌な事も分け合っ
て行こうな」
真理子さん 「これからもよろしく
お願いします」

Exciting Innovation 想いから行動へ 全道JA青年部大会が開催される

えんゆう農協青年部は、十二月六日〜七日に札幌市で盟友約六〇〇名を集めて開催された第六十一回全道

J A青年部大会に役員・事務局一
名で参加してまいりました。

大会は、二日間に渡って開催され、



第61回全道JA青年部大会の様子

全道盟友たちの青年主張発表や活動実績発表、分科会と記念講演を拝聴し、知識と親睦を深めてまいりました。

また、本大会では、北海道農協青年部協議会から活動経過報告があり、今後も全道盟友とともに青年部活動の前進を図っていくことが確認され、盛会のうちに閉会となりました。

オホーツク管内青年農業者大会で 岡田拓也君と箭内優貴君が優秀賞受賞

十二月十三日、オホーツク管内青年農業者大会実行委員会とオホーツク総合振興局の主催で管内青年農業者大会が端野町公民館（北見市）で開催され、遠軽町青少年クラブから出場した岡田拓也君（遠軽町千代田）と箭内優貴君（遠軽町美山）が畜産経営部門でプロジェクト発表をおこない、優秀賞を受賞しました。大会は、管内の4Hクラブ員や関

係者ら約一四〇名が参加しておこなわれ、岡田君と箭内君は、「今年は草地にカルシウムをやってやったぜ！お石灰だろ〜」のタイトルで酪農経営の礎となる草地の収量増加、品質改善への取り組みを発表しました。惜しくも最優秀賞は逃しましたが、優秀賞を受賞し、今後も継続的な取り組みと活躍が期待されます。



表彰式で優秀賞を受ける遠軽町千代田の岡田拓也君

フロアカーリングで大盛り上がり JAえんゆう女性部合同研修会を開催



十二月十二日、JAえんゆう女性部は農協本所大会議室で合同研修会を開催し、フロアカーリングをおこないました。

フロアカーリングは新得町で考案され、室内で手軽に行えるスポーツとして近年注目を集めております。

午前十時に、女性部員三五名が四

チームに分かれ競技がスタートし、熱戦が繰り広げられました。

競技中は、好プレイ、珍プレイが続出し、終始声援や笑い声が絶えず、大いに盛り上がりました。次回につきましても趣向を凝らし、活動していきますので、部員皆様のご参加よろしくお願い申し上げます。

フロアカーリングでは一投一投に熱が入ります

エコクラフトを使ってバック作り フレッシュミズ合同研修会を開催しました



JAえんゆう女性部フレッシュミズでは、十二月十二日に農協本所大会議室で合同研修会を開催し、部員二一名が出席しました。

ある湧別町四の上松晶子さんに講師になってもらい、「エコクラフトを使ったバック作り」に挑戦しました。

今回の合同研修会では、部員でも

部員たちは、製作手順書と講師の

上松さんの実演を見て手順を一つずつ確認しながら、ていねいにエコクラフトを編み上げ、バックを作っていきます。

バック作りは、初めての人も多く、慣れない手付きで教えてもらいながらの製作でしたが、2時間ほどでかわいいバックを作ることが出来ました。研修会後は、昼食を兼ねて部員同士の懇親を深めて、無事終了いたしました。

手順を学びながら楽しくバック作りをおこないました



発行日 平成25年1月1日
編集 中川菊夫
印刷 宮農協同組合
横田印刷株式会社

〒099-6501 北海道紋別郡湧別町上湧別屯田市街地230番地
TEL 01586-2-2161 / FAX 01586-2-4797
ホームページ http://www.ja-enyu.com
メールアドレス kikaku@ja-enyu.com

賀正

昨年中は御愛顧を賜り

厚く御礼申し上げます。

本年も旧に倍しての御愛顧の程

宜しくお願い申し上げます。

職員一同、皆様の御用命を

心よりお待ちしております。

平成二十五年 元旦

- (株) エーコープ えんゆう
- (株) ジェーエー えんゆう
- (株) えんゆう機械センター



平成25年度 営農計画書作成協議日程

本所・遠軽地区

日程	曜日	午前9時～午後12時	午後1時15分～午後4時
1月17日	木	午前9時～午前11時 豊里・清川 (JA会議室) 午前11時～午後4時 学田・向遠軽 (JA会議室)	
1月18日	金	千代田・社名渚・美山・留岡・若松 (会館)	
1月21日	月	野上・栄野・湯の里・瀬戸瀬・若咲内 (会館)	
1月22日	火	北兵村一区 (JA会議室)	
1月24日	木	南兵村二区 (JA会議室)	
1月25日	金	札富美・開盛 (JA会議室)	旭 (JA会議室)
1月28日	月	上富美 (JA会議室)	富美 (JA会議室)
1月29日	火	屯田市街地 (JA会議室)	南兵村三区 (JA会議室)
1月30日	水	北兵村二区・三区 (JA会議室)	南兵村一区 (JA会議室)

※協議日程の都合が悪い方は、別会場・別時間でも参加可能です。
但し、別会場希望の方は、事前に担当者までご連絡お願い致します。
尚、日程が変更になる場合は、都度連絡申し上げます。

●丸瀬布・白滝・生田原地区につきましては、1月11日以降、個別にご連絡させていただきます。